

グループ「わ」西区会だより (NO147・平成28年10月号)

1. 健福11期 増金スミ子さんのボランティア活動に対する思い！

今まで振り返ることもなく、ボランティア活動は楽しみであり、ひたすら少しのお役に立てることを、喜びとし実践して参りましたが、時として私の活動を本当に喜んで頂いているかどうか、自問自答しながら、自己不振に陥ることもありましたが、お陰様で、立派な行政の方々にご指導を頂きながら、目標とする諸先輩、相談できる友達、良く気の付くお弟子さんたちに囲まれて、又、黙って見守ってくれる夫や、健康を気遣ってくれる子供達、癒しの孫に囲まれて、この活動はまだまだ修行の真最中というところでございます。

思い起こせば40年前、「奥さんどこへお出かけ？」ちょっと。「ちょっとつてどこへ？」神戸。「神戸のどこ？」ボランティアに「ボランティアって何？」障害者のお手伝いな「あーそう偉いわね、いいご身分ね。行ってらっしゃい。」励ましとも嫌みともとれるような理解しがたいご近所の方々の見送りを受けながら、遠慮がちな活動が始まりました。とはいうものの長い活動の間には、嬉しい依頼も沢山ありました。

「冥途のみやげに、南京玉すだれを今一度見たい」と言う94歳のおばあさんの頼みで、雨の中出かけた事、1人でも100人でもお客様。「もっともっと長生きしてほしい。何回でもお声かけてくださいね。」硬い約束をして帰ってきたものでした。



南京玉すだれ



動物風船づくり

又、10年前からは、自宅を開放して、月2回の割りで「ふれあい喫茶」を開き「仲良く、楽しく、心地よく過ごせる地域づくり」を理念として、地域の方々が住み慣れたところで、如何により幸せに生きることが出来るのかを目指して、インフォームドコンセントを計りながら続けていますが、実は、一番楽しんでいるのは、私かもしれません。今年の6月には、10周年で立食パーティを開いた所、53名の方が我が家に押しかけて来て下さいました。有難うございました。



ふれあい喫茶



ふれあい喫茶参加者とスタッフ

私の活動は、微々たるものですが、少なくとも私自身は、活動のお蔭で沢山のことを体験し、感動と感激と感謝の気持ちを沢山いただきました。これからも素晴らしい体験を無駄にしない様に、少しの活動でも大きな火種になる喜びを若い人達に伝授していかなくてはと、思うと共に、私自身もまだまだ、崖っぷちに花を咲かせるまでは、との心意気でこれからも、頑張っ活動していきたいと思っています。

有難うございました。 健福11期 増金スミ子

☆増金さんの大道芸「南京玉すだれ」をご覧になられた方は、たくさんいると思いますが、増金さんは自宅を開放して「ふれあい喫茶」も行っております。次号でふれあい喫茶を紹介いたします。

2. 8月西区会でのボランティア活動報告

ハマリイン西神春日台	習字指導	4日
ビヴァ・サン神戸	川柳指導	1日
珠光庵	川柳指導	1日
なでしこティホーム	コーラス	1日
西体育館花壇グループ	美緑化運動	1日